



# 希望

第190号  
2023.1月号

医療法人 済衆館 済衆館病院  
〒481-0004 北名古屋市鹿田西村前111番地  
TEL.0568-21-0811(代表)  
FAX.0568-22-7494  
e-mail: saishukan@rio.odn.ne.jp  
https://saishukan.com

マンスリー 済衆館だより

裏面：熱傷～温かいもので暖をとる事が多い冬は要注意です～

## 謹賀新年

院長 川崎 晋吾

新年明けましておめでとうございます。旧年中にご厚情を賜りました地域の皆さま、連携機関の皆さま、そして職員の皆さまに深く御礼申し上げます。

昨年1年中新型コロナウイルス対応に振り回されました。しかし、当院ではそのお陰をもちまして、ここ数年でICT(感染対策チーム)を中心とした院内の感染症への対応力がアップし、各部門及び職員にかなり浸透してきたと思います。今後も様々な感染症が飛来しようと無難に対応できる

ものと頼もしく思います。

さて、昨年4月よりEMT(Emergency Medical Technician)科が病院救急車で救急搬送業務を開始しております。地域の高齢者の方々の急変や施設入所者さまの急性増悪などに速やかに対応し、今後一層の救急部門の増強を図って参ります。また、昨年11月より手術室の改修工事を開始しており、7月には2室より4室に増室となる予定です。手の外科領域を始め、整形外科診療体制を拡充し、手術を行う全科の手術件数の増加を図っていきたく思います。

そして、救急から急性期・回復期・在宅まで、地域医療に貢献できますよう尚一層の努力を図って参ります。本年も何卒ご指導のほど宜しくお願い申し上げます。

### 外来診療担当医表(1月)

		月	火	水	木	金	土
内科	午前	横崎 消化器	渡辺 消化器	森 糖尿病・膠原病	鶴見 循環器	吉田(勝) 循環器	柳澤 呼吸器
		今村(亜) 循環器	橋本 呼吸器	今村(亜) 循環器	渡辺 消化器	戸部 循環器	多田 第1・3 腎臓・リウマチ・膠原病
		森 糖尿病・膠原病	下條 循環器	吉田(勝) 循環器	名倉 脳神経機能外科	伊藤(隆) 脳神経	伊藤(隆) 第1・3 10:30~11:30 新患のみ 脳神経
		岡城 循環器	鈴木(重雄) 第3・4・5 消化器	横崎 消化器	岡城 循環器	橋本 第2・3・4 呼吸器	生田 第2・4 糖尿病内分沁
		舌津 脳神経	伊藤(隆) 脳神経	多田 腎臓・リウマチ・膠原病	吉田(由) 第1・2・3 9:30~ 糖尿病内分沁	栗木 消化器・肝臓	担当医
			吉田(由) 9:30~ 糖尿病内分沁			吉田(由) 9:30~ 糖尿病内分沁	
外科	午前	川崎	今村(康) 外科・総合診療科	安藤	今村(康) 外科・総合診療科	佐藤(榮)	勝野 第2・3・4 10:00~
		河合(純) 11:00~	佐藤(榮)	河合(純)	川崎	安藤	河合(純)
眼科	午前	半田	半田	半田	半田	半田	半田 第1・3 担当医 第2
	午後 受付時間	半田 13:30~15:30		担当医 第1・2・4 13:30~15:30		半田 13:30~15:30	
小児科	午前	植	植	植	臼井	植	植
	午後	植 15:00~16:00	植 15:00~16:00			植 15:00~16:00	
皮膚科	午前				休診		
整形外科	午前	中里	松本	新海	中里	新海	松本
		松尾(英)	村山	齋藤	松尾(英) 第2・3・4	栗本 9:30~	佐伯 第1・3 早川 第2・4
歯科・口腔外科	午前	梅村/小熊	梅村/小木	梅村/木下/小木 第2・3・4 第1	小木/梅村 第1 第2・3・4	梅村/井上(博) 第1・2・4	
美容皮膚科	五島	火曜日 14:00~16:00 予約制		シミ・そばかす・マスクによる肌荒れなどお悩みはございませんか？ お気軽にご相談ください。			

### 専門外来

#### ◆ 内科

月	火	水	木	金	土
糖尿病内分沁 村瀬 9:00~12:00		糖尿病内分沁 津村 13:00~15:00	禁煙外来 橋本 (第2・3・4) 予約制	老年内科 梅垣 (第3・4) 予約制 14:00~16:30	
消化器・肝臓 栗木 13:30~			消化器・肝臓 栗木 14:30~		
IBD/便秘外来 渡辺 予約制 14:00~16:00		呼吸器 柳澤 (第1・3・4) 予約制 14:30~15:30	腎臓・リウマチ・膠原病 多田 13:30~		
腎臓・リウマチ・膠原病 多田 14:00~16:00					

★外来は、原則として予約とさせていただきます。  
★受付時間 午前8:30~11:30  
午後専門外来は診察時間の30分前からとなります。  
★診察時間 午前9:00~12:00  
★都合により担当医師が変更となる場合があります。  
★急患の場合はお電話ください。  
TEL.0568-21-0811(代表) 時間外・休日にも診察致します。

#### ◆ 外科

月	火	水	木	金	土
乳腺外科 秋田 予約制9:00~10:30	脳神経外科 飯塚(第3・4・5) 予約制14:30~16:00	手の外科 平田 (第1・3) 予約制 14:00~16:00	泌尿器 遠山 14:00~14:30	脳神経外科 飯塚 (第1・2・4) 14:00~16:00	形成外科 担当医 9:00~10:00
緩和ケア 秋山 13:30~16:00	脳神経外科 担当医 (第2) 14:30~16:00	乳腺外科 佐藤 (第1・3) 予約制 14:00~16:00	脳神経外科 飯塚(第3) 14:00~16:30	脳神経外科 担当医 (第3) 14:00~16:00	脊髄外科 西村 (第1・3) 9:00~11:30
泌尿器 武東 14:30~16:00	小児外科 勝野 13:00~16:00	脳神経・脊髄外科 担当医 14:00~16:00	脳神経外科 渡邊(第2・4) 14:00~16:00	泌尿器 担当医 予約制 14:00~	脊髄外科 担当医 (第2・4) 9:00~11:30
内分沁外科 横井(第3) 予約制15:00~16:00	足の指外来 五島 予約制14:00~		脳神経外科 担当医(第1) 14:00~16:00		泌尿器 鈴木(晶) (第2・4) 9:00~12:00
内分沁外科 日比(八)(第4) 予約制15:00~16:00			血管外科 今枝 14:00~16:00		
内分沁外科 富家(第5) 予約制15:00~16:00					

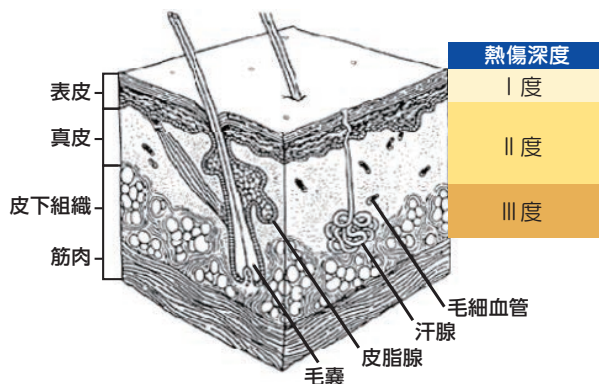
# やけど 熱傷

温かいもので暖をとる事が多い冬は要注意です

熱傷は、遭遇する機会が多いため正しい初期対応法を覚えておく必要があります。適切な初期対応は、広範囲熱傷時の救命に必須であるばかりでなく、小範囲熱傷の創傷治癒を促進することも知られています。熱傷の初期対応として重要なポイントは、熱傷の範囲(受傷面積)と熱による組織破壊の深さ(熱傷深度)を判断する事です。

## 熱傷深度

受傷機転(原因)は、熱湯や<sup>かえん</sup>火焰などの熱によるものが多く、熱傷深度に大きく影響を与えます。熱湯による熱傷は多くの場合それほど深くなりません。一方、<sup>かえん</sup>火焰による熱傷は深い可能性が高いと考えてください。専門的には、熱傷深度は3段階に分類します(右図)。それぞれの特徴を表に示します。受傷直後における熱傷深度の診断は専門家でも難しいとされています。様々な熱傷深度の創が混在している場合も多く診断をいっそう困難にしています。覚えておく必要のある特徴は、水泡形成と疼痛の有無です。水泡形成を認める部位はII度熱傷です。水泡形成を認めない部位はI度もしくはIII度になりますが、III度熱傷部位はI度熱傷と異なり疼痛を感じません。I度もしくはIII度熱傷は、水泡形成を認めないため、疼痛の有無で鑑別します。熱傷深度は予後に大きな影響を与えます。I度およびII度熱傷は皮膚再生により多くの場合自然治癒しますが、III度熱傷は皮膚の再生能力も失われているため最終的に植皮などの処置を要します。



深 度	皮膚所見	疼 痛	障害組織	治癒期間
I 度	発赤、紅斑	熱感、疼痛	表皮	数日
II 度	水泡、紅斑	疼痛、灼熱感	真皮	10日~3週間
III 度	蒼白、褐色	無痛性	表皮および皮下組織	上皮化しない

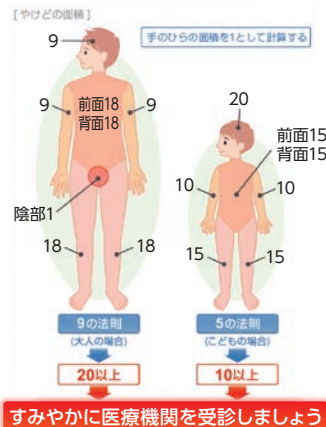
## 熱傷重症度と受傷面積

受傷面積は、全体表面積のパーセンテージで表します。10~20%を超える熱傷は危険な熱傷ですので直ちに熱傷専門医療施設に救急搬送する必要があります(右表)。小範囲熱傷時の受傷面積の計算は、患者手掌の面積を1%として計算すると便利です。

熱傷患者の治療施設に関する判断基準  
(米国外科学会1990年)

### A 熱傷専門施設での治療を要する熱傷

- ・10歳以下、あるいは50歳以上で受傷面積が10%以上のII度熱傷
- ・上記以外の年齢層で受傷面積が20%以上のII度熱傷
- ・全年齢層でIII度熱傷が5%以上
- ・顔面、目、耳、手、足、会陰・陰部熱傷
- ・電撃傷
- ・化学熱傷
- ・気道熱傷
- ・重要臓器の基礎疾患を有する場合



### B 上記以外の熱傷は、一般病院での治療が可能

## 一般的な初期対応

初期対応として必要な点は、熱傷深度および受傷面積のおおまかな把握に加えて、創部の清潔と冷却です。創部の洗浄、冷却のために受傷直後から水道水を用い5分間ほど創部を流水で流してください。その後、軟膏などは塗布せず、清潔なタオルなどで軽く包み病院に行きましょう。受傷直後は皮膚にうつ熱を有しているため、初期の冷却により熱傷深度の進行を抑制できます。水泡は破らないようにそのまま軽くタオルで包みます。病院では、消毒後に水泡内容を穿刺除去する場合があります。初期対応を誤ると創部感染を併発し治癒期間が延長します。自己判断をせず速やかな受診を心がけてください。

救急センター長 武山 直志

➡ 次号は「アナフィラキシーについて」です

- 1月1日(日)元旦 ●1月1日(日)~2月28日(火)「はたちの献血」キャンペーン
- 1月7日(土)七草 ●1月9日(月)成人の日
- 1月11日(水)鏡開き ●1月20日(金)大寒



正岡子規作

第190号 2023.1月  
発行/済衆館病院広報委員会

医療法人 済衆館 済衆館病院  
TEL.0568-21-0811(代表)

〒481-0004 北名古屋市長西村前111番地  
e-mail: saishukan@rio.odn.ne.jp https://saishukan.com  
FAX.0568-22-7494

当院は個人情報保護に積極的に取り組んでいます。